

学校・家庭・地域の連携で活性化するPTA活動

美祢市立大嶺中学校PTA

1 本校および地域の概要



↑ 本校生徒昇降口付近

(1) 本校・地域の教育的環境

本校区は、美祢市の西部に位置しており、美祢市役所等の官公庁が集中する大嶺小校区を中心に北部は重安小および麦川小校区、西部は豊田前小校区と広範囲にわたっている。本校の北部には住宅地「来福台」があり、多くの生徒が通学してきている。

学校は、美祢市街地の西部にあり、自然・史跡・文化施設に恵まれた文教地区で静かな落ち着いた環境にある。

地区住民の教育に対する関心は高く、学校教育に対して協力的であり、PTA活動も活発である。

(2) 学級数および生徒数（令和2年1月14日現在）

学年	学級数		生徒数				計
	通常	特別支援	男子		女子		
			通常	特別支援	通常	特別支援	
1年	3	3	34	4	45	1	84
2年	3		47	1	49	1	98
3年	3		44	0	30	0	74
合計	9	3	125	5	124	2	256

(3) 学校教育目標と重点的取組事項

◎学校教育目標：思いやりの心と節度を持ち、学び続ける生徒の育成
～さわやかな大嶺中・規律ある大嶺中をめざして～

○校訓：誠実 自主 協力

○重点的取組事項

- ・学力の向上
- ・教育環境の整備
- ・生徒指導の充実
- ・教員研修の充実
- ・連携教育の推進

2 本校PTAの組織（PTA規約より）

（1） 目的

本会は、保護者と教職員が相互に連携し、学校、家庭および地域社会における生徒の健全育成に努めるとともに会員の研修の充実を図ることを目的とする。

（2） 役員

- ① 会 長 1名
- ② 副会長 若干名（今年度は8名）
- ③ 理 事 若干名
- ④ 評議員 地区評議員（各地区より1名…今年度は計34名）
学級評議員（各学級より3名。）
- ⑤ 会 計 3名（保護者2名、学校職員1名）
- ⑥ 監 事 2名（保護者）
- ⑦ 書 記 2名（保護者1名、学校職員1名）
- ⑧ 顧 問 若干名（今年度は1名）



↑ PTA総会（4/27）

（3） 集会

- ① 総 会 年1回（毎年4月下旬）
- ② 評議員会 必要に応じて（今年度は2回）
- ③ 理事会 必要に応じて（例年、会長、副会長、『親父の会』会長および副会長から成る役員会を年に数回開催）
- ③ 部 会 「学ぶ力」「豊かな心」「安全・健康」の3部会

（4） 部会の主な活動

- 「学ぶ力」部会（評議員19名、教職員8名所属）
 - 地域資源を活用したキャリア教育の充実
 - ・地域資源の有効活用
 - ・ふるさとへの誇りと愛着を育む教育活動の充実
 - ・学校新聞の発行や文化祭バザーの取りまとめ
 - 「豊かな心」部会（評議員22名、教職員7名所属）
 - 保護者や地域とともに作る道徳授業
 - ・地域資源の有効活用
 - ・保護者や地域の授業参観（参加）
 - ・あいさつ運動や交通指導および花ボラへの参加
 - 「安全・健康」部会（評議員19名、教職員8名所属）
 - 心安らぐ学習（生活）環境づくり
 - ・校内掲示物の充実
 - ・公民館等と連携した地域への情報発信
 - ・環境美化や安全・健康についての活動（PTA球技大会、親子奉仕作業等）
- 以上の組織で各活動に取り組んでいる。



↑ PTA新聞「嶺風」第86号

3 活動内容

(1) 各部会の取組

2 ページで示したように、本校 P T A には「学ぶ力」「豊かな心」「安全・健康」の 3 部会がある。今年度特に重点的に取り組んでいる各部会の取組は以下のとおりである。

○「学ぶ力」部会

家庭学習の習慣づけの一環として、本校の定期テスト期間の初日を「ノー（ロー）メディア・デイ」と位置づけた。小中各校で、家庭との連携により家庭学習を充実させる取組を行った。家庭学習の充実はまだまだ課題も多いが、家族とのふれ合い等意義深い取組となっている。

○「豊かな心」部会

毎月 2 回、生徒登校時に通学路のうちの 3 か所に生徒、保護者、教職員が立ち、積極的に挨拶を行う「あいさつ運動」および月 1 回、本校生徒、保護者および地域住民がボランティアで校内に花を生ける活動「花ボラ」を行った。前者は幟旗も活用し、後者は本校の活動の目玉の一つであり、今年度は子育てサロン（花ボラ・プラスワン）も「花ボラ」直後に実施した。

○「安全・健康」部会

「食」を中心とした生活習慣を向上させるため保護者および生徒対象のアンケートを 1 学期に実施した。その集計結果を 9 月に公表し、その後の学校並びに各家庭での生活習慣の指導に活用した。

(2) 親父（おやじ）の会の取組

本校 P T A の「親父の会」はたいへん結束が強く、かつ行動力のある活動を行っている。そのうちの 1 つが環境整備作業である。今年度は 12 月 14 日（土）に行われた。このときは、校地周辺の環境整備が中心であった。

右の写真は生徒の多くが登下校時に通る坂道周辺の除草と環境整備の様子である。当日は 17 名の保護者等ボランティアの参加があり、約 2 時間半にわたって熱心に作業が行われた。

保護者の中にはチェーンソーその他の機械を持参して本格的に樹木の伐採を行う方もあり、献身的な作業の成果もあり、本校の環境整備は円滑に行われている。



(3) 親子奉仕作業（8 / 24）

毎年 8 月下旬の土曜日の午前中に、親子奉仕作業を行っている。今年度は 8 月 24 日（土）に行われた。当日は約 70 名の保護者の参加があり暑い中 1 時間の作業を生徒と共にを行った。



作業は、生徒は学年・学級単位を基本にグラウンドの割当場所の除草を行った。一方、保護者は除草、校舎周辺の草刈りや木々の伐採等を手分けして行った。

左の写真は、会員が除草作業に取り組んでいる様子である。この作業の際、この度の活動支援助成金より除草道具（三輪車）22 本と一輪車 4 台を購入させていただいた。そのお陰で、短時間で環境整備が行われた。作業終了後は、再度全校生徒と保護者が集合し、閉会行事後に保護者には労いのお茶が配

られて終了となった。能率よく作業が行われ、2 学期に向けての準備が整えられる会となった。

(4) 運動会 (9/7)

運動会でのPTAの取組は、当日の地区テントが張られる位置の調整、来賓受付(右の写真参照)、PTA競技への参加等がある。

今年度も多数の来賓の参加があったが、受付および接待を行うことで楽しんでいただける運動会となった。また、PTA競技にも多数の参加者があり、運動会を盛り上げる形となった。毎年、閉会式まで観覧される保護者も多いが、このようなPTAの取組が良い影響を及ぼしているといえる。



(5) 文化祭 (10/26)



左の写真は、文化祭当日の軽食バザーでの受け渡しの様子である。本校PTAは、文化祭では主に「軽食バザー」「喫茶コーナー」「チャリティバザー」の3つの分野で関わっている。それぞれの活動が積極的かつ献身的に行われており、毎年大きな盛り上がりを見せている。

それぞれの活動を流れに沿って述べていきたい。

まず、文化祭の約1か月前の役員会から準備がスタートした。前年度の反省をもとにして、今年度の取組の概要が話し合われた。例えば、食品バザーについては、メニューの選定、食材の必要量の確認などが行われた。また、実際の活動は50名を超える地区評議員および学級評議員によって行われるので、その打ち合わせを行う評議員会の準備などが行われた。

次に、役員会を受けて、評議員会が開催された。当日は全体会の後、「軽食バザー」担当のグループと「喫茶コーナー」「チャリティバザー」担当のグループの2つに分かれての打ち合わせが行われた。それぞれ、準備段階、当日の運営および片づけ等の内容や役割分担が綿密に協議された。

その後、前売り券代金の集計および前売り券の準備、チャリティバザー用物品の募集および値段決定等を経て文化祭当日の運営となった。各コーナーとも、生徒や保護者、また地域住民等多くの来校者が利用し、成功裏に終了した。

4 成果と課題

本校のPTAは、これまで述べてきたように、生徒の健全育成のためにさまざまな活動に取り組んでいる。しかも、会員が本校の教育活動に対してたいへん協力的であり、学校との緊密な連携で大きな成果を収めている。

今後の課題としては、教職員との一層緊密な連携を図り、PTAが主体となって行う活動を増やすことが挙げられる。特に、教職員の働き方改革が叫ばれる昨今、まだまだ教職員が主導してPTA活動が行われている実態もある。年度内の各活動の記録を学校側とPTA役員側の双方でよく整理し、また生徒の自治能力や地域への愛着の度合いを一層強めるために役割分担を明確にして実践を積み重ねるとよいと思われる。

本校の保護者の多くは、本校出身者である。その事は、PTA活動への協力体制の源となっている。その伝統をこれからも守り続け、現在本校に在籍している生徒が、20～30年後に生徒の保護者として本校のPTA活動を支えていけるようにしていきたい。